

福島正美ニューズレター

立川市議会議員 福島正美
TEL/FAX 042-522-9971



眩しさ溢れる夏を迎えて

日頃皆様には大変お世話になっております。いよいよ夏の到来を迎え眩しさ溢れる季節となりました。夏祭りも控え、地域の触れ合いも深まる時期ではないかと思えます。現在国ではクールジャパン戦略により日本の伝統芸能やソフト産業を広く海外に売り込む施策が展開されています。立川市も大型商業施設の進出でまちが動く今この時こそ大きく変わるチャンスであります。これからもまちの発展に全力投球して参ります。



5月定例議会報告

平成25年第2回定例議会が開かれました。一般質問では地域を歩いた中でいただいたご意見の中から以下の2点のテーマについて行ないました。

1. 立川市の教育について
 - ① 道徳教育について
 - ② 家庭教育について
 - ③ 教育センターについて
2. 障害者雇用について



教育現場において道徳の授業に明確な指導理念が持てない実態がある中、「親切」「勇気」「誠実」或いは「人に迷惑をかけない」「進んであいさつをする」等、長い歴史の中で醸成されてきた徳目と言われるものを繰り返して伝えることの大切さと、これらの「道徳的価値」を子どもたちが十分習得できるよう主張しました。また「しつけ」は先ず家庭からという教員の方々の声を基に、市としての「家庭教育の基本書」を作成し、大変な家庭への支援を講じるよう訴えました。さらに教育センターの設置について、現在進めている多機能分散型の狙いについて言及しました。

障害者雇用について、働く意欲があっても中々一般就労に繋がらない課題や、地元中小企業での雇用が進まない実態に対し、市が福祉就労施設と商工会議所及び企業とのマッチング等に十分なコーディネート役を果たすよう訴えました。

福島正美ホームページ <http://mf2933.sakura.ne.jp>

日々の活動を綴っております。ご意見、ご要望何でもお寄せください。

福島正美 5月定例会での一般質問（要旨）



立川市の教育について



①道徳教育について

【質問】本市の道徳教育のこれまでの取り組みと成果についてはどう考えるか。道徳の授業はすべきこととしてはならないことを繰り返し言って聞かせる地道な労作業である。「親切」「勇気」「誠実」「正直」或いは「人に迷惑をかけない」「進んであいさつをする」「嘘をつかない」等日本人が長年の歴史の中で醸成してきたこれらの道徳的価値を子どもたちは習得できているか。

【答弁】各学校において年間指導計画を作成し、学習指導要領に沿って指導している。授業にも工夫を凝らし、実践力が身につけてきている。あらゆる場面を捉えて繰り返し教えていく必要があり、理解させると同時に体現できるところまで教えなければならない。

②家庭教育について

【質問】しつけは家庭からという声を基に子どもとの接し方や保護者への助言をまとめた「家庭教育の基本書」を作成し、手が行き届かない家庭への支援策を講じるべきではないか。



③教育センターについて

【質問】市の目指す教育センターとはどのようなものか。

【答弁】研修、研究、相談、情報機能等が効率的に発揮できる最適な公共施設を組み合わせ、総体としてのセンターの役割を果たしていく。



障害者雇用について

【質問】働く意欲は十分あるが雇用先が見つからず、一般就労に繋がらない障害者の方が多い。どう考えるか。

【答弁】個別の状況は異なるが、各々の評価を通じきめ細かく対応し、企業の理解も深めていかなければならない。

【質問】地元中小企業の雇用が中々進まない実態がある。福祉就労施設と商工会議所、企業関係者による懇談会や保護者との相談会等、現実の雇用に繋げるためのコーディネート役を市は率先して果たして頂きたい。



ファーマーズセンター「みのーれ立川」 がオープン!



地元立川産の農産物を販売する一大拠点、ファーマーズセンター「みのーれ立川」がオープンしました。立川産の野菜はもちろん、観光協会推奨認定の特産品や加工品も販売されています。立川産の野菜は何よりも安心であり、もちろん新鮮で身がプリプリと引き締まり味も最高です。立川の新名所に皆様ぜひお越し下さい。



立川市 立川市の次の10年の未来像 第4次長期総合計画の策定期期に入ります

現在市は平成12年度からスタートした立川市第3次長期総合計画で定められたまちづくりの統一将来像「心の通う緑豊かな健康都市立川」の基、施策が実行されています。次期計画である「立川市第4次長期総合計画」は平成27年度から10年間のまちづくりの方針を定める計画となります。市民会議と審議会を構成し市民委員を募集します。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
市民会議	[Progress bar]		第4次長期総合計画 スタート
審議会	[Progress bar]		
市議会	[Progress bar]		
市(庁内会議)	[Progress bar]		

緊急提言 若者が集まるまち立川を!

立川はこれから駅北口の都市軸沿道国有地の売却が進む他、「イケア」と「ららぽーと」の進出が決定し、其々平成26年春と平成27年春のオープンが予定されています。それにより新たに増える来街者を既存店や駅周辺商店街がいかに取り込んで共存共栄していくかが最大の課題となっています。



立川には多摩周辺都市から多くの買回り品（ファッション衣料、趣味アクセサリ、耐久消費財等お客が品質や価格を比較し買い回る商品）の購買客が専門店を目掛けて駅ビルや大型百貨店を訪れています。過日行った商業実態調査においても今後イケアやららぽーとができてアッションや衣料等買回り品の購買客は駅ビルや百貨店には残ると言われています。

現在立川には全国有数の人気専門店が来店してきています。それと併せ立川には美容室が多いという特徴があります。これらの資産と今のこのトレンドを駅周辺の商店街もそして行政もキャッチすべきです。現在国では経済成長戦略の1つとして、日本の伝統芸能やソフト産業であるファッションやアニメ、食文化等を海外に売り出す「クールジャパン戦略」が行われています。日本が世界に向け特徴あるブランドを発信しようとしているこの時期に、立川も今までになかった「売り」やまちのブランドを売り込むべきです。そこで何を「売り」にするか。それは「クールジャパン」と前述した今立川に起きているトレンドにヒントがあります!



注目

錦町防災モデル

地区推進事業が始まりました！

地元錦町の住民の皆様によります立川市錦町防災モデル地区推進事業が始まりました。(6月10日：子ども未来センター)
この事業は地域で日頃からの震災への備えと初動対応を確立するために、お互い協力して防災対策について話し合ってもらい取り組みです。年間5回のワークショップを開催し、平成26年度までの2か年で地域の防災体制の仕組みづくりについて検討しまとめていきます。今後のスケジュールは下記の通りです。ぜひご参加頂き地域での助け合いの輪を広げていきましょう！

今後の開催スケジュール
(場所：子ども未来センター)

7月23日(火) 午後7時

10月6日(日) 午後1時30分

11月12日(火) 午後7時

26年1月21日(火) 午後7時



防災モデル地区推進事業で目指すこと

【共助】

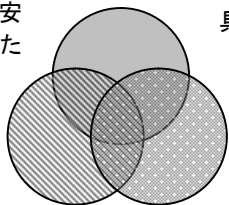
地域でお互い協力して安否確認や救援救護に当たります。

自助

【自助】

自身や家族の安全確保や家具転倒防止器具の取付け等

共助



公助

【公助】

避難所(小中学校)の耐震化や備蓄、警察や消防、参集職員による救助

立川市子ども未来センター

まんがぱーく市

子ども未来センターでは「立川まんがぱーく市」を定期的に開催しています。地元商店街の露店や立川産野菜の販売、フリーマーケット等が行われています。出店申込み随時受付中。



国民健康保険

特定健康診査の受診を!

市は市国民健康保険に加入している40歳以上の方を対象に、生活習慣病予防のための特定健康診査の受診を推進しています。高齢化や高血圧、糖尿病等により医療費は年々増加し、国民健康保険財政は破綻寸前の状況です。特定健康診査の受診は被保険者の皆さんの健康維持と医療費の抑制に繋がります。

人間ドック・脳ドック
最大35,000円を補助します

補助金の申請は契約医療機関へ予約後市役所の窓口へ。

市民相談いつでも
お気軽にご相談下さい
福島正美まで



- 総務委員会委員
- 議会改革特別委員会委員

電話:042-522-9971
携帯:090-6545-2425
E-Mail:mamfuns@nexyzbb.ne.jp
URL:http://mf2933.sakura.ne.jp



福島 正美 議員



発行：福島正美後援会